

インターンシップ M（機械工学群）

目的：京都大学大学院工学研究科機械工学群専攻（機械理工学専攻，マイクロエンジニアリング専攻，航空宇宙工学専攻）では，インターンシップを工学教育のひとつとしてカリキュラムに組み入れています（後期配当，選択 2 単位，（註 1，註 2，註 3））．世界のものづくりを支える国内・海外の企業や研究機関などの現場で，工業製品の生産，新製品の開発・設計，またそれらに関する基礎研究などの実務を体験し，機械工学の考え方や方法論を修得するとともに，実際の生産・設計・開発・研究の現場での“ものづくり”におけるチームワークや組織的な協働のあり方などを具体的に学修することで，“ものづくり”における人間と機械と組織のあり方を学び，大学院での勉学の動機付けや将来の進路決定を支援することを狙いとしています．

対象企業：機械系や工学研究科の事務室に募集要項を送ってきている企業や IAESTE などによる海外企業での研究も対象とします．また，以下のページにも掲載されている企業も対象としますので，各自で確認してください．

- ・大学を通じて参加する場合

KULASIS（全学生向け共通掲示板⇒インターンシップ情報一覧）

- ・個人応募で参加する場合

キャリアサポートセンター：<https://www.career.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

注：現場の実態を知るのが目的であるので，企業によるリクルートのための説明会，見学会，インターンと称しているが工場などの現場でない会場に学生を集めてグループワークなどの研修をするもの，期間が短い場合，は単位認定できません．心配な場合は，事前に担当教員に相談して下さい．

期間：夏休み，または春休みなどの 2 週間以上を原則とします．

注：2 週間以上とは，実質 2 週間分の平日のことで，実質のインターン日数が 10 日（祝日が入る場合はその日数を引いても可）でも単位認定されます．

単位（2 単位）：事前計画書および事後報告書の提出，報告会への出席によって認定（註 4，註 5）．

費用：交通費，宿舍，賃金などの支給条件は各企業によって異なります．

障害保険：学生教育研究災害傷害保険(学研災)に加入して下さい．（註 6）

注意事項：安易な気持ちで申し込まないこと．京都大学大学院の機械工学系の学生としての自覚と責任を持って行動して下さい．

担当教員：土屋，長田

担当事務：C クラスター教務掛（物理系）

註 1 後期配当科目なので，履修登録は後期になってから行うこと．

註 2 実施を希望する場合は，研究室の指導教員に相談をして下さい．

註 3 航空宇宙工学専攻に所属する学生は，履修について物理工学科事務室に問合せて下さい．

註 4 計画書，報告書の書式は，<http://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/oncampus/kyomu> よりダウンロードして下さい．

過年度の報告書は物理工学科事務室および C クラスター教務掛にて閲覧できます．

註 5 報告書には本人が記述する分と企業担当者に記述いただく分があります．企業担当者への報告書作成依頼も本人が行って下さい．報告書の公表についてインターンシップ先の承認を得ておいて下さい．

註 6 多くの学生は入学時に加入済みの筈です．加入しているかどうかは，KULASIS のマイページから確認することができます．詳細は学生部厚生課に問い合わせして下さい．